

# 三部共商會議の放棄を糾弾する。

全ての反動手段を学生の手で正せ!!

全大的生田の学友諸君、学費闘争の先頭に起つて國へ来た學友諸君！

我々は今、最も重大な時期に立つかつてゐる。我々の六〇森田に渡る團には何を意味し、我々の対応と學校当局の彈圧を明らかにし、かつ團の分析を促進した三部の戦線放棄と學友にテロ行為を行つた右翼を糾弾する中で、再度の強固な團上げ阻止への組織を強化しなければならない。その中で当局理事へ我々との團交を要求し、白紙撤回を迫らう。

二〇日、二五日の記念館団交で、我々多生の値上げ反対の要求は、當局理事會を、混亂と動搖の中に落し入れ、大學の現在を考えるものからは一切支持されないと言つた追求の中で、体育会係右翼にわざかに支持されたものと言つた現状は、我が團の強力な推進の中で勝ちと公認したものである。

當局理事會の混亂の中で、反の追求が逐次現れるべく設定された二八日の和泉園では、二〇日、二五日以上の体育会係右翼の暴力的行為により、學生にキヨウツ感を与え、対等を敗北へとけいしゃしようとしました。終始一貫して、當局理事會は体育会を使つて、暴力的に彈圧し、學生部は學生譲歩を使ひ自身の民青と結婚しデマを流し、學生に動搖を加えてきた。これが常に國家権力に警鐘や動機と連絡をとり、學生を通り渡す行為を公然と行つてゐたのである。

更に犯罪的なることは、三部共商會議の戦線放棄である。常に極左的放針で學生に対する時しつつ、時極が不利となるや一切を放棄大眾指導を忘れずしてしまつた調節的行為を行つたことである。六〇余日の向いを歪曲してはならない。

全生田の學友諸君、デマやテロに乗つかり、恐れてはならない。我々の要求の正しかか、だことは國家権力の介在によつて圧収しそうとした事実を明確に物語るものである。理事会の反動化を許さず。

授業ボイコットから再度のバリケード構築へ！

名クラス、ゼミ、サークルに於て今日までの間の統括を徹底的に行なう甲から、新たに我々の向いを推進しないわけにはならない。それは自治団への學校当局の介入（学長声明）に抗し、授業ボイコットを勝ち取り、再度のバリケード構築を勝ちとうなければならぬ。

我々の學費阻止の基本的根柢は、①は財政問題では解決しないこと、②教育の純均等の破壊のみでなく、教育研究、財政の危機に私立大學の危機の全般的解決をなればならぬ。それは暴力的ハリケード破壊では決して解決しない。このことは、今後も我々の向いが示すであろう。我々はそうした問題を長期的論じ合う姿勢は崩してはならない。それは理事会のうの困難を否と異力組織を使つて大学生彈圧に示されず。だが我々はそれらに抗し、の日の記念館団交を理事會に要請する。

理事会の学内反動、独裁から学園を守れ！！

当スケジュール  
2月1日 治論  
全明試験  
集会

2月2日 理事会  
対談  
12時半  
(要約) 全学開争委  
生田地主連